

BEAUTY FROM THE INNER

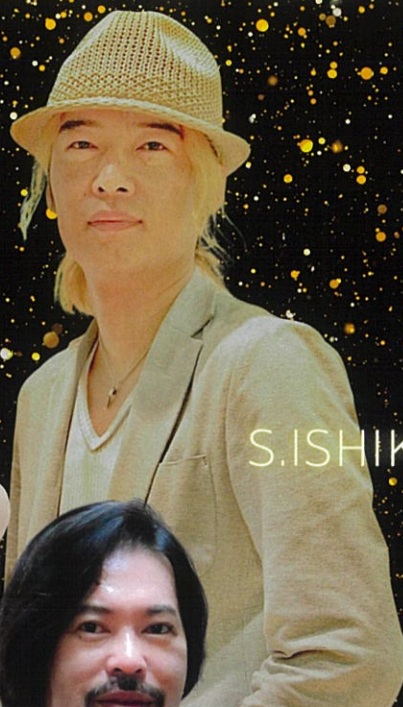
10TH

ANNIVERSARY  
SPECIAL CONCERT

S.HATAE



S.ISHIKAWA



R.KIKUCHI



T.YONEZU



Y.KANDA



ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲  
リュエフ:サクソフォンと管弦楽のためのコンチェルティーノ  
ガーシュイン:ラプソディ・イン・ブルー  
デスモンド:テイク・ファイブ  
ジマー:パイレーツ・オブ・カリビアン 他

2023.9.10.SUN 3:00PM

茨木市市民総合センター

クリエイトセンターホール

大坂府茨木市駅前4丁目6-16 ☎072-624-1726

JR茨木駅・阪急茨木市駅前から約800M

TICKET ¥5,000 (全席指定)

090-6988-0882 (菊池)

(公財)茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 (9:00~17:00)

財団チケットカウンター (クリエイトセンター1F)

インターネット予約 <http://shop.yksonic.com>



# MUSIC PERFORMED BY

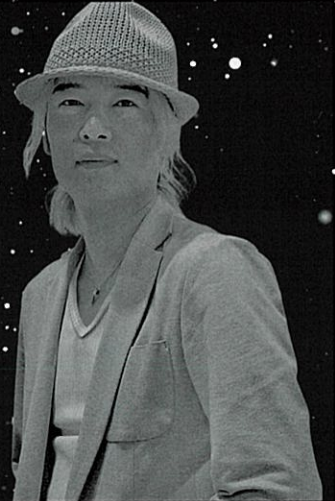


## 波多江史朗 (はたえしろう) サクソフォン

東京音楽大学、同大学研究科修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡仏。パリ国立高等音楽院を一等賞、セルマー賞を得て卒業。ソリストとしてポーランド、ザブジュ国立管弦楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪交響楽団、千葉交響楽団などと共演。マンハッタン音楽院に招聘されマスタークラスを行う。中高大一般の吹奏楽団とのゲスト共演も多数。NHK芸術劇場、題名のない音楽会、BSプレミアム、FM名曲リサイタル、吹奏楽のひびきなどの音楽メディアにも多く出演。これまで4回のソロリサイタルを東京文化会館にて開催しいずれも高評を取めている。ソロアルバム「Songs」、サクソフォーン四重奏「カルテット・ズピリタス」メンバーとしても数々のアルバムをリリースし、レコード芸術誌に於いて特選盤に推薦されている。木管8重奏団「Take8」メンバー。東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジの講師としても活躍し国際コンクール優勝者を育成している。

## 石川昇平 (いしかわしょうへい) パーカッション

東京音楽大学打楽器科卒業後フリーのミュージシャンとして首都圏で活動。パーカッションistやドラマーとしてミュージカルやコンサートの出演、その他音楽教室や打楽器トレーナーとして活動【ミュージカル】「シンデレラ」(’95~’97)、「アニーよ銃をとれ」(’97)、「オズの魔法使い」(’98~’00)【アンサンブル】「神田将エレクトーンアンサンブル」(’01~)。「横浜近海祭ドリームオブハーモニー」(’03~’07)その後バンドやユニットのアルバムのリリースやライブ活動も精力的に行う。更には avex をはじめ各地の音楽スタジオにてボイストレーナーやリズムトレーナー又は作詞作曲講師として勤務。その後エイベックス・アーティストアカデミー大阪校の立ち上げとともに専属講師となり、関西から数多くのアーティストを輩出してきた。その他レッスン以外にもカリキュラムの開発やインストラクター育成、そして発表会のプロデュースなど職務は多岐に渡り、avex アカデミーの中心的な存在として力を発揮してきた。【主な指導歴】花村想太 (Da-iCE) / JURIA (XG) / 武部柚那 (E-girls/スダンナユズユリー) / EXILE NESMITH (EXILE/EXILE THE SECOND) / manaka (Little Glee Monster) / moca (lol) など。その傍ら舞台事務所を立ち上げ、数々の舞台作品をプロデュースし世に送り出した。【舞台演出】「トカゲのヌケガラ」【伊丹アイホール】総合演出/音楽監督 (’10/’11)、「天狗」【大丸心斎橋劇場】総合演出/音楽監督/オーケストラ指揮 (’11)、「ユニバース」【千日前ユニバース】総合演出 (’12)そして現在においてもレッスンのほか各地イベントや発表会でのゲスト出演、アンサンブルでのコンサート出演に加えYouTubeでの発信など、様々な形で音楽の楽しさを伝えるため活動している。



## 米津真浩 (よねづただひろ) ピアノ

千葉県立幕張総合高校を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)卒業。同大学院を首席で修了。大学、大学院在学中特待奨学生として在学。2009年度、同大学ティーチングアシスタント。大学院修了後、異例の若さで母校である東京音楽大学にて非常勤助手として後進の指導に当たり、その後、更なる研鑽を積むため、2013年・2014年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生としてイタリアの名門イモラ音楽院へ留学。2007年 第76回日本音楽コンクールピアノ部門 第2位入賞。岩谷賞(聴衆賞)を受賞。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、Gross Vogel Philharmoniker、東京音楽大学プレイングオーケストラ等様々なオーケストラと共演。仙台クラシックフェスティバル2011年・2012年出演。成田国際空港ロビーコンサート出演。ソロ、室内楽等の演奏活動だけにとどまらず、クラシック音楽の普及をモットーに音源や記事の提供、TV出演、ボランティア活動、後進の指導、小学生から高校生までを対象とした学校公演を行ったりと、アウトリーチ活動にも積極的に力を注ぐ。これまでに寺田栄子、高梨淳子、村上隆、弘中孝、Leonid Margariusの各氏に師事。また、M.ラエカッリオ、P.ネルセシアン、S.ドレンスキー、A.サッツ、M.ペロフ、D.ヨッフ、B.リグット、V.リヤードフ、B.ゲツク、T.ゼリクマン、B.ペトルジャンスキー、P.ドヴァイヨンといった世界的なピアニスト・教授陣の指導を受ける。2015年冬より拠点を日本へ戻し本格的に演奏活動を開始。

フジテレビ『金曜日の聞きたい女たち』、テレビ朝日『芸術ハカセ』『ならデキ』等のテレビ番組やラジオといったメディアへの出演やYouTube等SNSを使った活動も積極的に行う。

<https://linktr.ee/yonezutadahiro>

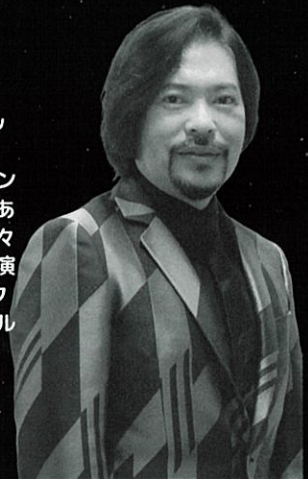


## 神田将 (かんだゆき) エレクトーン

1台のエレクトーンでフルオーケストラを思わせる豊かな音を奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。特にクラシック作品の演奏を得意とし、独自の技術と高い音楽性が絶賛されている。

仙台クラシックフェスティバル(2009-)や、霧島国際音楽祭(2013-)などの日本を代表する音楽祭に、唯一のエレクトーン奏者として出演。また、中国上海国際芸術祭への出演を機に、海外音楽祭への参加やリサイタルも増え、日本生まれの楽器であるエレクトーンを演奏する日本人音楽家として各国で人気を博している。国内では、ソロコンサートを中心にしながらも、数々の一流音楽家との共演や、舞踊や邦楽などジャンルを超えたコラボレーションでも好評を博す。また、第九演奏会やオペラ上演でのエレクトーン1台によるフルオーケストラ担当、全国各地の小中学校への訪問コンサートなども積極的におこない、エレクトーンの可能性を広げるための努力を重ねているほか、公演の制作や演出の手腕にも定評がある。東京文化会館でのリサイタルを2015年から継続しており、2021年にはエレクトーン史上初となる東京文化会館大ホールでのリサイタルを成功させた。2024年の演奏家活動30周年を目前に、演奏のみならずスマートなトークにも磨きがかかり、今後の活躍が期待される。

公式ホームページ [www.yksonic.com](http://www.yksonic.com)



## 菊池玲那 (きくちれいな) エレクトーン

1996年生まれ。2歳からヤマハ音楽教室に通う。幼少よりエレクトーンを岡本広美氏、ピアノを柳生雅永子氏に師事。一般財団法人ヤマハ音楽振興会エレクトーン特別ゼミで出会った神田将氏の音楽に憧れ、2010年に入門して現在に至る。2017年には、韓国昌原第九、穴栗第九、周南第九に合唱団員として参加し、神田将氏の演奏と共に歌う。2018年4月には、姫路労音「エレクトーンの魅力学ぶ集い」に出演。2020年にエレクトーン演奏家として本格的に活動をスタートし、玉村三幸(フルート)、波多江史朗(サクソフォン)、石川昇平(パーカッション)、米津真浩(ピアノ)、松本昌子(シンガー)、清水理恵(ソプラノ)、平野雅世(ソプラノ)、井上美和(メゾソプラノ)、マンドリンオーケストラコンゴリア等と共演。日本青少年文化センターによる学校訪問巡回コンサートに参加する他、舞台監督や制作のアシスタントも務めるなど経験を広げており、将来を期待されている。

